

「まち」とともに歩む学校づくり懇話会

10月29日（金）に第2回「まち」とともに歩む学校づくり懇話会が開かれました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の防止の観点から開催を見送りましたが、今年度は第1回こそ書面開催となったものの、第2回の会は学校に集まって開催することができました。

家庭科室に集まった委員の方々からは、「やはり学校から子どもたちの声が聞こえてくるのはいいですね。」と口を揃えておっしゃっていただきました。様々な立場で学校の子どもたちを見守ってくださっている地域の皆様にとって、「学校」はやはり大切な地域の宝なのだとあらためて感じることができました。



懇話会に参加していただいた委員の方々には自己紹介をしていただいた後、校内を巡り、コロナ禍における子どもたちの学習の様子を参観していただきました。「子どもたちはしっかりと学習に取り組んでいますね。」「生き生きと学ぶ様子が見られて安心しました。」

「今は、一人一台タブレットを使って学習しているのですね。」など、様々な感想を述べられていました。一方で、「大きな声を出せないのはかわいそうですね。」「給食中はまったく話さずに食べるのですね…。何かさびしいですね。」「マスクをずっとつけることが当たり前になっている子どもたちは、大きくなったらどうなっていくのでしょうか？」など、学校における現状とこれからの子どもたちの成長について不安視するご

意見もいただきました。学校行事もそうですが、これまで地域で大切にしてきた行事やイベントがいろいろな制約を受けてできなくなり、子どもたちの楽しみや成長の機会が失われています。

学校、保護者、地域が一体となり、地域に根差した子どもたちの育成を図っていきたい、そのために大人がどんなことができるのか、この「まち」とともに歩む学校づくり懇話会で、様々な立場からご意見をいただき、これからの不動丸小学校の在り方を考えていきたいと思っております。

